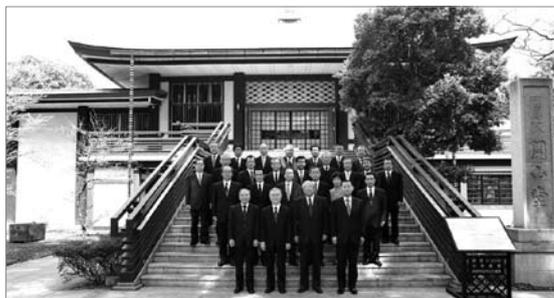


初代理事長 五島慶太翁 生誕130年 ご報告墓参会を開催

慶太翁の理念と、
教育への想いを振り返る



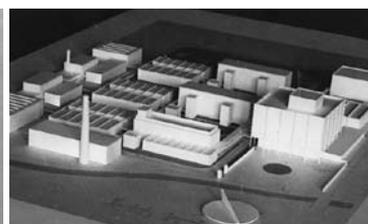
当日の参列者一同（浄真寺開山堂前にて）

今年2012（平成24）年は、都市大グループの祖である学校法人五島育英会の初代理事長、五島慶太翁の生誕130年にあたります。その記念すべき年の、翁の生誕日である4月18日、東京・九品仏の浄真寺にある慶太翁の墓前にて、都市大グループの発展のご報告を行う墓参が催されました。

墓参当日は快晴に恵まれ、小鳥もさえずる暖かな陽気の中、安達功理事長、中村英夫総長、國分榮専務理事、広江秀夫常務理事をはじめ東京都市大学グループ各学校園長等が参列し執り行われました。総合学園としての都市大グループ発足は、まさに慶太翁の夢が具現化したものであり、今回の墓参は、その礎を築かれた慶太翁にあらためて敬意と感謝を表す機会となりました。



五島慶太翁



慶太翁の構想による校舎増築10カ年計画の模型



慶太翁とゆかりの深い、本学最初の鉄筋コンクリート校舎（右側の建物、3階建て旧2号館。設計：蔵田周忠、昭和30年）



五島慶太翁の胸像を囲んで（都市大世田谷キャンパス）

前列左から／國分専務理事、安達理事長、中村総長（都市大）、広江常務理事

後列左から／重永校長（付属小）、原田校長（等々力中高）、小野校長（付属中高）、赤羽校長（塩尻高）、波田野園長（二子幼）、白石校長（東自校）



（上）快晴に恵まれた当日、浄真寺の境内を通り墓前へ
（中）慶太翁の墓前にて、都市大グループの発展をご報告する安達理事長
（下）それぞれの想いを込めて墓前に一礼する参列者